

備前市事務事業評価シート

事業の概要		
事業開始年度	平成12年～	
大項目	基本構想 05	生活環境政策「快適・活力」
中項目	基本計画 08	快適な生活が送れるまち
小項目	施策 33	生活排水の適正処理
事務事業名	08 個別排水処理施設管理運営事業	
根拠法令・例規等	浄化槽法	
問	担当課(室)	下水道課
合	職・氏名	参事 初治 慎一
先	電話	0869-63-2330
	このシート作成に要した時間	4.0 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	吉永町地内の特定環境保全公共下水道及び農業集落排水施設供用開始区域外で生活する市民及び不特定多数
目的(何のために)	文化的で快適な生活環境の提供を図り、併せて公共水域の水質保全に資する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	個別浄化槽の処理機能を維持し、処理水の水質を良好に保つとともに、未接続や未供用の解消を推進する。

事業の実績			
	細事業名	事業の説明	優先度
目的を達成するため実施した事業	個別排水処理施設管理運営事業	個別浄化槽の処理機能を維持し、処理水の水質を良好に保つための清掃と管理委託	○

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	24,147	23,779	21,647
	必要人員	人	0.01	0.05	0.03
	事業費計	千円	24,254	24,334	21,964
	国県支出金	千円			
受益者負担	千円				
繰入金	千円				
市債	千円				
その他( )	千円				
一般財源	千円	24,254	24,334	21,964	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	結果指標量	人	223	220	209
	対前年比	%	-	98.7%	95.0%
	活動コスト	円	24,254,316	24,334,167	21,964,556
	単位当たりコスト	円	108,764	110,610	105,094

事業の成果					
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
		目標値(A)	100	100	100
水洗化率(%)	実績値(B)	96.1	95.7	95.9	到達目標値
	達成率(B/A)	96.10%	95.70%	95.90%	平成30年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
浄化槽接続人口/対象区域内人口					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普通や低い や通や低い 高 低い C
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 A B C D E 高や普通や低い や通や低い 高 低い C
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている		有効性評価 A B C D E 高や普通や低い や通や低い 高 低い C
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		C

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	○ ・接続人口及び戸数は、現状で推移する見込みであるが、浄化槽の老朽化等による修繕費の増加が予測される。 ・維持管理コストを減らされるよう業者と協議しながら、管理方法を検討する。						

総合評価	
浄化槽の処理機能は適正に保たれており、処理コストを抑えるよう努力する。	総合評価 A B C D E 高や普通や低い や通や低い 高 低い C

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	○ 接続人口及び戸数は、現状で推移する見込みであるが、浄化槽の老朽化等による修繕費の増加が予測される。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しながら